



# らんざん



## 七郷小学校創立150周年



丁寧に保存された写真には、愛があふれていました。

七郷小学校150年の歴史の中で、子どもたちの教育にご尽力された先生方と、学校を支えてこられたすべての方々に、心より感謝を表します。

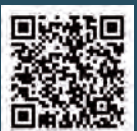
そして、嵐山で育つ子どもたちが、みんな幸せでありますように。



### 令和5年 第3回定例会

傍聴者  
37人

- ◆ 議会人事/議場コンサート ..... P 2~ 3
- ◆ 決算特別委員会 ..... P 4~ 7
- ◆ 第3回定例会報告 ..... P 8~ 9
- ◆ 一般質問8人が町政を問う ..... P10~17
- ◆ 常任委員会報告 ..... P18~19
- ◆ 議会報告会案内/編集後記 ..... P20



# 議会体制が新しくなりました

10月1日投開票の嵐山町議会議員一般選挙が、9月26日に告示され、13人の新議員が無投票により誕生しました。

初議会となる第1回臨時会が10月16日開会され、議会人事構成が全て決定いたしました。

## 議長就任のご挨拶

議長 森 一人

去る10月16日に開会された臨時会において、議長に再選させていただきました。一人でございます。その職責の重さに、改めて身の引き締まる思いでございます。

議会といたしましては、果たすべき責務を明確にし、公平・公正のもと、町民に「より開かれた議会」を目指し、一層の機能強化と議会運営の活性化に取り組んでまいります。

これからも嵐山町議会は町民の皆さまの負託にこたえるべく、鋭意努力してまいりますので、皆さまのご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。就任の挨拶とさせていただきます。



左：森 一人 議長  
右：狛守勝義 副議長



青柳賢治 監査委員

◎=委員長 ○=副委員長

議会構成はホームページでもご覧になれます



# ◆議場コンサートを開催しました！(8月29日)◆

第3回定例会に先立ち、議会を身近に感じていただけるよう、らんざん混声合唱団によるコンサートを開催しました。100名を超える方にお越しいただき、素晴らしい歌声が議場に響き渡りました。



ご参加ありがとうございました

## 合唱団の方の声

- ・うまくできたかなと思う。お客様も大勢こられてよかった。
- ・もう20年やっている。これからもやっていきたい。
- ・気持ちよかった。17年やっているが、これからも続けていくつもり。
- ・お子様もいらしており、有意義な取り組みだと思う。
- ・定例化も考えていただきたい。
- ・初めて参加したが響きのよい場所でした。交流もできるし、よい企画だと思います。

## 来場者の声

- ・議場の雰囲気コンサート会場のように素晴らしい。
- ・音の環境もよく、コーラスがとてもよく響いて感じられました。
- ・こういう機会がもっとあってよいと思います。
- ・議会の議場で演奏会があると聞いて聞かせていただきました。
- ・コーラスの雰囲気もよく、楽しませていただきました。
- ・議場と聞くと敷居が高いと感じましたが、時間も長くなく親しみやすい曲が多くよかったです。
- ・町のいろいろな団体の演奏が聴けるとよいと思います。

令和5年10月15日の任期をもって3名の議員が勇退されました。長きに渡り、町政発展のためにご尽力いただきましたことに衷心よりお礼申し上げます。



左から) 高橋副町長、佐久間町長、長島邦夫氏、松本美子氏、大野敏行氏、下村教育長



## 総務経済常任委員会(6人)

所管課・総務、地域支援、税務、町民(戸籍)、会計、農政、企業支援、まちづくり整備、上下水道



狛守勝義 副委員長  
森 一人 委員長  
◎小林 智  
○竹内隆哲  
藤野和美

## 文教厚生常任委員会(7人)

所管課・町民(戸籍、事務を除く)、福祉、長生きがい、環境、教育総務、生涯学習



川口浩史  
橋本 将  
◎佐藤弘美  
青柳賢治  
◎吉本秀二  
宮本大裕  
渋谷登美子

## 広報広聴常任委員会(12人)

議会報・広聴活動に関する事項

◎藤野和美  
○橋本 将  
議長を除く全議員

## 議会運営委員会(6人)

◎嵐山美幸  
○宮本大裕  
小林 智  
藤野和美  
吉本秀二  
渋谷登美子

## 小川地区衛生組合議会議員(2人)

森 一人  
吉本秀二  
※嵐山町、小川町、滑川町、ときがわ町、東秩父村の5町村により組織する一部事務組合。

## 比企広域市町村圏組合議会議員(2人)

森 一人  
川口浩史  
※東松山市ほか7町村で組織する一部事務組合。

## 議会選出監査委員

青柳賢治



# コロナ禍・物価高など先行き不安 の中で町民生活をまもる72億1560万円

令和4年度決算認定は、決算審査特別委員会（委員 長 島山美幸、副委員長 藤野和美）を設置し、4日間 にわたり審査しました。慎重なる審査と白熱した議論 が展開され、原案のとおり認定されました。

**Q** 地方創生臨時交付金1億8589万円の使途は

**A** 嵐山幼稚園空調設備設置事業、農業者フォロアップ事業、学校給食補助事業、小規模事業者等原油価格等高騰対策支援事業、水道料金基本料金免除事業、子育て世帯応援給付金支給事業などである。

**Q** 嵐山まもり隊の組織数と需用費の内容は

**A** 組織数は21団体、需用費は主に消耗品で雑草を焼くバーナー、除草剤、草刈刃、混合ガソリンである。

**Q** コンビニ交付サービス事業の利用数は

**A** 税証明123件、住民票1396件、印鑑証明946件の合計2465件で、1件あたりの経費が960円である。

**Q** 子育て世帯の2つの給付金は

**A** 一つ目は子育て世帯生活支援特別給付金事業。新型コロナウイルス感染症の影響や物価高騰などに直面する低所得者世帯で、令和4年3月末18歳未満の養育者に対し、児童1人につき5万円を55世帯87名に給付した。

二つ目は、子育て世帯応援給付金事業。令和4年9月分の児童手当受給者に対し、児童1人につき1万円を1012世帯1608名に支給した。

**Q** 子宮頸がん検診の対象者数と受診比率は

**A** 対象者は20歳以上で7702人中、受診者は689人で8・9%である。

**Q** 配食サービス事業支援金支給事業の目的と内容は

**A** 地方創生臨時交付金で配食事業者2事業者に、食材費の補助をした。令和4年9

月から令和5年2月までに、要支援認定者分昼食46人、夕食13人、要介護者のいる65歳以上の高齢者のみ世帯分昼食199人、夕食67人である。

**Q** 空き家実態調査の調査結果は

**A** 空き家の多い地域は、菅谷（99件）、志賀（93件）、川島（53件）、平澤（47件）で全体の63・2パーセントである。

**Q** 農業者フォロアップ事業の内容は

**A** 新型コロナウイルス感染症対策分は、農産物生産組合が実施するサービスイベントや組合員が漬物・総菜弁当などの加工品を販売するための冷蔵オープンケース、認定農業者等にパイプハウス、各種管理機等7件

を補助した。価格高騰分は、牛ふん堆肥への転換をしやすいするため、価格の半額相当分を補助した。

**Q** 重忠まつりの決算概要は

**A** 支出内訳は、イベント費（55万円）と運営費（122万円）。運営費内訳は、交通警備に関する費用、子ども向けイベント委託費、印刷費、消耗品費、修繕費である。



**Q** エリアリノベーション事業の内容は

**A** 人材発掘のため、嵐山MEET&TALKという「トークイベント」を嵐山溪

谷パーベキュー場、駅東西連絡通路と駅周辺で3回実施し、300人の来場があった。

**Q** 電子図書館導入事業の町民利用状況は

**A** 電子図書登録者数は156人で、貸出数は280件である。

**Q** 小中学校の教職員が使用するパソコンに導入された校務支援システムの評価は

**A** 令和4年4月から学校で稼働している。1年半経過したところだが、教職員の事務の効率化が進み、負担軽減につながっている。また、教育課程の管理、児童生徒の個人情報管理等も行うことができる。業務のさらなる効率化負担軽減を行うことが今後の課題である。

## 令和4年度事業 現地調査

9月4日「子ども家庭支援センター」「千年の苑ラベンダー園」「学校橋河原キャンプ場トイレ」の現地調査を実施しました。



学校橋河原キャンプ場トイレ



嵐山町子ども家庭支援センター入口

## 実質収支に関する調書（一般会計）

（1万円未満切捨て）

区分	令和3年度	令和4年度
歳入総額 A	76億7468万円	77億5522万円
歳出総額 B	71億6953万円	72億1560万円
歳入歳出差引額 C (A-B)	5億515万円	5億3961万円
翌年へ繰越すべき財源 D	2847万円	5220万円
実質収支額 (C-D)	4億7667万円	4億8741万円

# 令和4年度決算一般会計討論

## 反対 (渋谷登美子 議員)

令和4年度も、対話が少ない中、嵐山町の学校再編は進んだ。菅谷小敷地に小学校3校を統合、中学校2校を統合し新校舎を建設。

学校再編は地域住民の廃校を協議する機会を設けず、嵐山町立小中学校再編基本計画資料作成業務を株式会社総合企画設計埼玉支店に委託した。菅谷小中学校地区には、学校が新しくなり、子ども数が増えるので、好ましい。一方、学校廃校の七郷小地区、玉ノ岡中地区、志賀小地区には、近距離の学校がなくなる。地域主権が本来である憲法92条の地方自治の本旨に反している。地域主権を優先させる政策に方向転換することを望む。

## 賛成 (小林 智 議員)

3年間のコロナ禍での町政運営に区切りをつけて、新しい時代への足固めとなった決算との印象が強く残る。

川島地区産業団地整備事業への着手、また千年の苑事業では独立採算のための足場づくり、駅西口地区整備事業では課題はあるものの着実な進展、さらに教育事業では、再編等審議会答申を受けて準備作業の開始、当面の課題である雨漏り対策や老朽化施設の更新などへの目配りもされている。

そのような状況の中で、財政調整基金の積み増し、学校再編の公共施設建設基金として2億円を積み増すなど将来に備えた準備を始められ、健全財政へのしっかりした取組みであると評価できる。

一方、人口減少が進む中での税収減、道路や建物施設などの維持コストの増大、医療費の増大が見込まれ、町財政にとっては厳しい未来が予測される。

それらを踏まえながらも、町の明るい未来のために取り組んでいただけることを願います。

## 反対 (川口 浩史 議員)

学校再編審議会での審議は、遺漏があったと言わざるを得ない。それは、教育環境について全く審議がされなかったからである。

七郷小は少人数学級ができており、最高の教育環境にあると考える。しかし、統合になれば人数が増え、教師の目が行き届きにくくなり、子どもが勉強について分らないことがあっても放置されてしまうことがある。少人数学級の利点を統合しても活かせるのか、また上回る理由があるのか審議すべきであった。不十分な審議で出した答申は受理に値しないと考える。

## 賛成 (青柳 賢治 議員)

令和4年度一般会計決算を次の理由により認定し賛成討論とする。

- 1 令和4年3月に佐久間町長は「嵐山町ゼロカーボンシティ宣言」を表明しました。いずれも施策選定の途上にあるにもかかわらず、LED化をはじめとした幅広い取り組み、できることから対処している姿勢を評価する。
- 2 学校再編の答申が出されると時間をおくことなく、公共施設建設基金積立2億円を補正予算に提案した。この積み立ては各課の事業への厳しさや工夫が求められたことでもあり、この財源確保を高く評価する。
- 3 第6次総合振興計画スタート2年目となりました。子育て支援学校教育においても、子どもの無気力や保護者の悩みに対して、現場でも様々な努力をしながら、福祉の面、学校教育の両面から一層の連携を図っていくとの悩む子どもや不安を抱える保護者の立場に立った答弁を評価する。

# 特別会計への主な質疑

### 国民健康保険

**Q** 特定健康診査等事業費について

**A** 令和4年度の受診率は40・9パーセントで、前年より0・7パーセント上昇した。未受診の方にターゲットを絞ってSMS（ショートメール）を利用した受診勧奨を実施したことなどが受診率向上につながった。

### 後期高齢者医療

**Q** 普通徴収の人数と平均保険料は

**A** 人数は850人、平均保険料（収入済額）は8万2977円。

### 介護保険

**Q** 単年度収支が改善されている。町の分析は

**A** 支払準備基金を2200万円取り崩したこと、保険給付費が3765万円減額となったことが要因である。

### 水道事業

**Q** 新浄配水場の進捗率は

**A** 総事業費18億2千万円に対し、令和4年度は1パーセントである。

### 下水道事業

**Q** 不納欠損の理由は

**A** 転居先不明と死亡の2つが大きな原因である。

特別会計	歳入	歳出	差引額	被保険者数 (年度末現在)
国民健康保険	19億7682万円	19億2178万円	5504万円	3652人
後期高齢者医療	2億6903万円	2億6472万円	4307万円	3129人
介護保険	16億2879万円	14億6094万円	1億6785万円	5924人

事業会計	事業収益	事業費用
水道事業	5億3154万円	4億3886万円
下水道事業	5億9674万円	5億4617万円



## 議会からの政策提言を議員全員で議論

決算審査特別委員会終了後、「アフターコロナにおける住民のコミュニケーション向上と町の元気度」について議員全員で議論しました。嵐トレ、団体への町支援、地区のお祭りなどについて活発に議論し、次のことについて町へ意見書を提出しました。

- 脱コロナ予算として、地区・団体に向けての予算を確保してほしい。
- 現団体等のICT力の向上と強化が必要。町からも講座等を積極的に開催していただき、地域力の向上・町の活性化を図って欲しい。
- 行政区活動の活性化において、非常時でも活動できるように、各集会所にWi-Fi環境の整備が必要。
- 新たに活動を始めた団体やこれから始めたいと考えている方に向けて、町が間に入ってもらう、既存団体との交流の場が必要。

# 令和5年 第3回定例会 (8月25日～9月14日)

## 令和5年度 一般会計補正予算 歳入歳出それぞれ 5億3943万円 追加 総額 72億3404万円に

- 普通交付税交付額決定によって 1億4341万円
- 公共公益施設建設基金積立金として 2億円

## 第3回定例会 町長提出議案審議結果

賛否はこちらで  
確認できます



議案番号	賛否の分かれた町長提出議案等 ※●の網掛けは賛成討論、×の網掛けは反対討論を行いました	審議結果	森 一人	洪谷登美子	松本 美子	川口 浩史	青柳 賢治	長島 邦夫	島山 美幸	大野 敏行	藤野 和美	狩守 和義	小林 智
議案第33号	令和5年度嵐山町一般会計補正予算(第5号)議定について	可決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
認定第1号	令和4年度嵐山町一般会計歳入歳出決算認定について	認定	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
議案第41号	工事請負契約の変更について(町道菅谷31号線雨水管整備工事)	可決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●

※議長は議事進行を行うため賛否表明はしません。賛否同数の場合のみ「議長採決」として表明します(「裁」と記載)。

議案番号	全員賛成の町長提出議案	議案番号	全員賛成の町長提出議案
報告第4号	令和4年度嵐山町健全化判断比率の報告について	議案第38号	令和5年度嵐山町下水道事業会計補正予算(第1号)議定について
報告第5号	令和4年度嵐山町資金不足比率の報告について	認定第2号	令和4年度嵐山町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について
報告第6号	専決処分の報告について	認定第3号	令和4年度嵐山町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について
報告第7号	専決処分の報告について	認定第4号	令和4年度嵐山町介護保険特別会計歳入歳出決算認定について
同意第4号	嵐山町教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて	認定第5号	令和4年度嵐山町水道事業会計決算認定について
議案第34号	令和5年度嵐山町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)議定について	認定第6号	令和4年度嵐山町下水道事業会計決算認定について
議案第35号	令和5年度嵐山町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)議定について	議案第39号	令和4年度嵐山町水道事業会計未処分利益剰余金の処分について
議案第36号	令和5年度嵐山町介護保険特別会計補正予算(第1号)議定について	議案第40号	令和4年度嵐山町下水道事業会計未処分利益剰余金の処分について
議案第37号	令和5年度嵐山町水道事業会計補正予算(第1号)議定について	報告第8号	専決処分の報告について

議案番号	議員提出議案等 ※●の網掛けは賛成討論、×の網掛けは反対討論を行いました。	審議結果	森 一人	洪谷登美子	松本 美子	川口 浩史	青柳 賢治	長島 邦夫	島山 美幸	大野 敏行	藤野 和美	狩守 和義	小林 智
請願第8号	学校施設老朽化に対する補助率の引き上げを求める意見書の提出について	否決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
発議第9号	健康保険の廃止の見直しを求める意見書の提出について	否決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
発議第10号	学校給食費の無償化を求める意見書の提出について	可決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
発議第11号	武器輸出の要件緩和に反対する意見書の提出について	否決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●

### 議員提出議案

**主な歳入**

地方交付税  
普通交付税の交付額の決定  
1億4341万円

子ども・子育て支援交付金  
子どもを守る地域ネットワーク強化事業の補助対象事業費増額分  
52万円

児童虐待・DV対策総合支援事業費補助金  
子ども家庭総合支援拠点運営事業及び支援対象児童等見守り強化事業分  
611万円

新規就農総合支援事業補助金  
経営開始資金事業の対象者増加分  
150万円

寄附金  
ふるさと納税増額分  
3000万円

繰入金(特別会計)  
前年度実績により、国保・後期・介護特別会計繰入金を補正  
1815万円

**主な歳出**

ふるさと納税推進事業  
寄附金増加に伴う返礼品に要する経費  
1429万円

10月から制度が厳格化されるが、その影響はほとんど影響がないと考える。

公共公益施設建設基金積立金  
2億円

補聴器購入費助成金  
加齢性難聴者に対し、補聴器購入に要する費用一人上限2万円を補助  
20万円

所得制限はあるのか  
所得制限はない。

新規就農総合支援事業補助金  
営農開始資金事業の対象者増加  
150万円

補助対象者は3月に嵐丸塾を卒業した施設栽培を中心に、多岐にわたって経営を展開している農業者である。

住宅リフォーム補助金  
申請件数の増加に伴い、1件10万円を上限に補助  
200万円

武蔵嵐山駅西口地区整備事業  
町道菅谷31号線雨水管整備、防鳥ネット設置  
4250万円

防鳥ネットの設置規模は  
駐輪場の整備をする場所の上だけを予定。

小学校施設改修事業  
菅谷小空調設備移設・教室改修工事、七郷小屋上漏水修繕  
1295万円

空調の移設は5台で6教室という説明だが、一台は購入するということか  
空調設備が設置されている教室から移設する。

中学校施設改修事業  
玉ノ岡中屋上漏水修繕  
避雷針修繕  
341万円

小中学校の老朽化はどの程度改善されるのか  
A 当面の危険を回避できる経費として計上した。

同意第4号  
嵐山町教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて

中澤恵利氏(再任)

議案第41号  
工事請負契約の変更について(町道菅谷31号線雨水管整備工事)

町道菅谷31号線雨水管整備工事の施工に關し、変更契約を締結するもの  
変更後総請負契約金額  
1億1806万円

### 可決意見書(要約)

地方自治法第99条の規定により、国(県)への要望・意見を、意見書として提出することができます。今定例会では1件の意見書が可決されました。

#### 学校給食費の無償化を求める意見書(要約)

学校給食法第2条に定めている学校給食の目標達成に向け、学校では給食を通じた食育が行われており、その意義は大きく、教科学習とともに学校教育の大きな柱となっている。新型コロナウイルス感染症の蔓延、ウクライナとロシアの戦争を背景とし、最近の物価高騰により国民の生活は厳しくなっている。小中学校の給食費を無償化し、公費負担する自治体がある一方で、無償化の実施が困難な自治体もあり、義務教育の費用負担において自治体格差がある。義務教育課程では学校給食の早期の無償化が必要である。よって、嵐山町議会は、国に対し下記を求め、

国の財政負担による学校給食の無償化を迅速に実施すること。

提出先 衆・参議院議長、内閣総理大臣ほか関係大臣



議員 勝義 伏守

# 議会の提言をどのように受け止めているか

## 答 観光協会と共有し、事業展開に活かして行く

持続可能な「千年の苑」  
事業の展開を...

**問** 「らんざんラベンダーまつり」とラベンダー園の運営について

**答** 企業支援課長  
(1)入場者数は3万  
(2)総収入は2988万8260円。内訳は入場料1543万7100円、駐車場料金505万1000円、摘み取り体験566万円、手芸教室103万8000円、物販203万4660円、シャトルバス66万8400円である。支出は全体で2660万3502円。収支結果は328万4758円の利益。  
(3)出店者全体で1186万円の売り上げが報告され、テレビ4件、新聞15件、ウェブ等222件取り上げられた。広告換算値は1億3300万円と試算され、大きな経済効果と考えている。



町への提言はこちらからご覧いただけます



ラベンダー園=R5.6月

【その他の質問事項】  
◆広報紙の「子どものページ」について  
◆迷惑なごみ出しの改善策と啓発活動について



議員 美幸 島山

# カーペットや毛布を集積所で回収する考えは 安心して処理できる仕組みを組合で考える

粗大ごみの  
リユース周知を

**問** 戸別収集に係る粗大ごみシールを許可業者で購入できる仕組みづくりについて、また、分解不要の粗大ごみの戸別収集申請手続きをスーパー、コンビニ等で依頼できないか。

**答** 環境課長 現状、粗大ごみの戸別収集に係る処理手数料は町の条例に規定され、手数料納付後に粗大ごみシールを渡すこととなっている。分解が必要な粗大ごみについて、許可業者に粗大ごみシールを渡し、手

続きを取る仕組みについては、公金の取り扱い上、今後、調査研究していく。また、分解不要な粗大ごみ処理手数料の納入についても、公金の取り扱い上、不可能ではないが、収集業者を申請者の住所別に指定する等の手続き上の問題もあるため、今後、調査研究していく。

**再** 使える粗大ごみをリユースする仕組みとして、自治体版ジモティー導入の考えについて聞く。

**再** 環境課長 他自治体の成果を見て今後の検討課題とする。  
**問** 現在、持ち込みとペットや毛布は畳んで

紐を掛ければ、廃プラとして回収できないか。  
**答** 環境課長 カーペット等を別便で収集運搬すると、収集運搬業務委託料の上昇に繋がる。粗大ごみとして、町民による直接持ち込みを基本と考える。

**再** 町長 安心して処理できる仕組みを組合で考えたい。  
**特定健康診査、個別がん検診等期間について**

**問** 本町の特定健康診査は6月から、がん検診は7月からとなっている。同時に受

出典：環境省ホームページより意外と知らない「リユース」の世界

【その他の質問事項】  
◆ナラ枯れ対策について  
◆公有地の活用について



長島 邦夫 議員

農業は人間の生命線  
守ってほしい。

**問** 住民として、近隣市町村及び自己の知り得る学び場を見る限り、町の子どもたちは決して豊とは言えない。今後想定される学び場には大きな期待をするが、町の財源はそれに耐えるか。

**答** 総務課長 資金計画が重要と考える。多額の財源が必要となることから、いかに財源確保するかは重要なことであり、補助率、交付率が良い補助金を活用し、借入についても交付税措置のある有利な地方債の活用を考

### 新しい学び場に期待をするが資金計画は

### 交付金、資産売却、ふるさと納税等に取り組む

えている。また、資産売却、クラウドファンディング、ふるさと納税等の寄附金についても一層、取り組みを強化し、確保に努めたい。

#### 農地の活性化について

**問** 営農集団、認定農業者であっても担い手問題で悩んでいる。結果として農業離れ、耕作放棄地が増える原因となっている。農業は人間の生命線であり、若者就農者には農業の魅力を知ってもらうことも多い。今後の農業対策について伺う。

**答** 農政課長 町で耕作する営農法人は1経営体、町外2経営

体、認定農業者34経営体である。町全体の耕作面積372.5ヘクタール中、239ヘクタールで64%となっており、町の主体的な農業者である。主な作付は水稲、麦、大豆。畑では、露地野菜、施設野菜となっている。支援策は全ての農業者へのフォローアップ支援に努める。

**問** 農業公社設立の考えは。

**答** 農政課長 農地を守る、農業経営を支援する、担い手育成といった基本的な考えを強化推進する上で、町独自の農業公社設立には大変魅力を感じているが、現在のところ設立の考えはない。



多くの人に守られ、管理された南部改良区=R5.9.2

【その他の質問事項】  
◆森林環境譲与税の活用について



青柳 賢治 議員

早い再編は  
待ったなしだ

**問** 学校再編の進捗と学校設備の修繕予定について聞く。

**答** 教育総務課長 政

### 校舎の老朽化は限界、早期再編を進めよ

### 令和11年度開校とする方針

する状況が続いている。現場を確認したところ、雨漏りを止めるには大規模な修繕が必要になることが分かった。現菅谷小学校は取り壊す予定であることなどを総合的に判断し、他の教室を改修し移動することで、雨漏りが一番酷い3階の教室は、今後使用しないことで児童の安全を確保する。

**問** 町、地域の諸課題について聞く。

**答** まちづくり整備課長 (1)現在、買収

務を発注し、契約した各地権者や権利者の方には、個別に説明を行い、令和5年度は、県道深谷嵐山線交差点から川島地区産業団地予定地まで用地買収を進めていく。

(2)今年度になり、水道工事において土砂が搬出される見込みがあるため、一部を埋め立てる予定。今後は、新浄配水場の整備が進む中で大量の土砂が搬出される見込みがあるので、その後整備を進めていく。

上下水道課長 (3)区画整理及び都市計画道路の状況が具体化されてきたので昨年度基本計画を策定した。関係機関との調整を図りなが



子ども達の安全を守るのは大人の責任 (提供:菅谷小 教室の天井)

【その他の質問事項】  
◆マイナンバーカードをめぐるトラブルについて  
◆ごみ集積所の改善傾向について



渋谷登美子 議員

## 郷土芸能の再開は

### 答 古里ではコロナ感染対策しながら再開予定

地区で、大人から子どもに伝わる郷土芸能大切にしたい

**問** 休止中の郷土芸能の再開は。

**答** 生涯学習課長 現在無形民俗文化財に登録されている郷土芸能は県指定の「越畑の獅子舞」と町指定の「兵執神社獅子舞」「古里の祭囃子」の3件。「越畑の獅子舞」は東日本大震災をきっかけに休止している。古里地区の「兵執神社獅子舞」と「古里の祭囃子」はコロナ禍による中止・休止である。越畑地区は再開の目的は立たない。古里地区は感染対策を講じつつ、で

きることを再開したいとの回答である。

**問** 持続するための町の支援として、嵐山まつりや小中学校で演じることでいいか。

**答** 生涯学習課長 嵐山まつりや小中学校で演じることは、持続するための取り組みとして参考にする。過去には古里祭り囃子保存会による七郷小学校3年生を対象にした授業での実演や嵐山まつりにおける演奏等を実施している。町では団体補助金の他、指定文化財としての管理者報酬、用具の修繕費などの経済的支援をしているが、各保存会と協議し、検討していく。

**問** 録画等の記録保存の考えは。

**答** 生涯学習課長 越畑八宮神社獅子舞保存会では映像のデジタルデータ化及び概要資料を作成している。兵執神社獅子舞の映像は地元住民による8ミリフィルム記録がある。映像資料の撮影・デジタルデータ化を保存会と連携して取り組む。



兵執神社獅子舞 (提供: 生涯学習課)

- 【その他の質問事項】
- ◆ 学校再編の進捗について
  - ◆ 学校教育に困難な課題を抱える子どもへの対応について
  - ◆ 命の安全教育について
  - ◆ 提案型補助金交付要綱について
  - ◆ 災害時の通信について
  - ◆ HPVワクチン接種について



川口 浩史 議員

## 菅谷小の解体を機に駅からバイパスまで一本の道路を

### 答 新校舎建設の予定地は計画のまま進めていきたい

「千年の苑」ラベンダー園について、みんなで考えることが必要だね。

**問** 町の発展と町民の利便性を考え、菅谷小の解体を機に、駅からバイパスまで一本の道路を整備することが必要ではないだろうか。

**答** まちづくり整備課長 新たな学校施設の土地利用を優先する必要がある、現状では難しいと考えている。

**再問** 新校舎の位置を菅谷中に変更すれば良い。利便性第一に考えるべきではないか。

**再答** 教育長 現菅谷小学校の敷地内に小・中学校を建てるこ

とは、今まで十分な審議を進めて得た結論のため、現在はこの計画のまま進めていきたいと考える。

#### 学校再編基本計画について

**問** 新校舎の建設費と町債、公債費負担比率は。

**答** 教育総務課長 現時点では概算で、新築工事約47億円、グラウンド整備等外構工事約2億円、現校舎解体工事約6億円、設計・工事監理等約3億円、合計約58億円を見込んでいます。

**再問** 総務課長 町債は約24億5千万円程度、1年あたりの償還額は元金と利息合わせ

て約1億円と推計している。公債費負担比率は令和15(2033)年度時点で13.2%と推計している。

#### ラベンダーまつりについて

**問** ラベンダーまつりの入場者数と収支は。

**答** 企業支援課長 入場者数は3万2740人、収入29988万円、支出2660万円、328万円の利益となった。

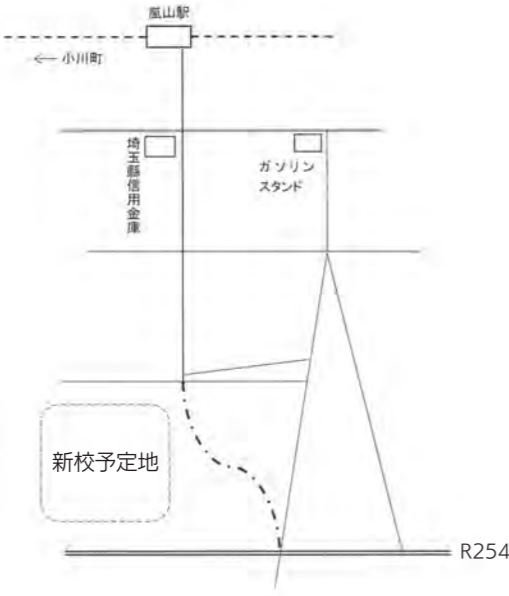
**再問** 利益があったというが町から1810万円も補助金を出しているから赤字になっ

たのだ。ラベンダー事業としては赤字になっているということでは

ないか。

**再答** 企業支援課長 観光協会への補助金は町が行政として取り組むべき観光事業を観光協会が担っている

いう位置づけでもある町民が納得するような町のPRを実施している部分もあり、補助金をなくすことが適切とは考えていない。



菅谷小を解体するならば、点線のように道路をつくり利便性を高めることが今後の嵐山町にとって大事ではないか。





藤野 和美 議員

# 滑川方式のデマンド交通を検討する考えは 答 しっかりと検討していきたい

外出支援の充実で、安心して暮らしていきたい。

**問** 令和8年度以降の高齢者の外出支援策の検討状況は。

**答** 長寿生きがい課長 持続可能性や公平性を考慮し、検討していく。現在は、「嵐山支え合い協議会」の移動支援分科会において、地域の協力による移動支援の実施に向け取り組んでいる。

**問** 生活サポート事業の現状は。

**答** 福祉課長 町内の2事業所、町外の4事業所が、町内で事業を展開している。

**問** デマンド交通を検討する考えは。

**答** 地域支援課長 スクールバスをコミュニティバスとしても活用できるか検討している。

**問** 車両をリースにして、町で運用している滑川方式について検討する考えは。

**再答** 町長 予算的にも、利用者の利便性や地域差の課題においても参考になり、しっかりと検討していきたい。

## 遊休農地対策は

**問** 農地バンクの利用の現状は。

**答** 農政課長 利用権設定225ヘクタールのうち、13%となっている。



収穫を待つさつまいも畑=R5.10.3

**問** 遊休農地活用促進策は。

**答** 農政課長 地域等の仲間を募って遊休農地を解消し、楽しく活用する仮称「農地守り隊」のような小さな団体を育成し、町で支援する体制を検討していきたい。

**再問** 町として特産物づくりの取り組みは。

**再答** 農政課長 トロコアイモ今後は推進していきたい。

**再問** 支援の方策は。

**再答** 農政課長 補助の対象の拡充も考えている。

## ラベンダー園は

**問** 今年のラベンダーまつりの評価は。

**答** 企業支援課長 来場者は昨年より多い3万2740人で、アンケートでも多くの方に満足を得ており成功と考えている。

**問** 今後の運営方向は。

**答** 企業支援課長 ラベンダー事業全体の黒字化をめざしつつ持続可能な事業展開を進めて行く。



小林 智 議員

# ふるさと納税今後の取組みは

## 答 町の魅力発信と自主財源確保の有効な手段として取り組む

ふるさと納税の活用を！

**問** ふるさと納税の活用実績と資金の管理は。

**答** 総務課長 社会福祉事業、教育環境事業など6種類の選択による事業と、使途を特定しない寄附がある。一度、ふるさとづくり基金とスポーツ振興基金に積み立てを行い、予算策定段階で活用できる事業の選定を行っている。

**問** ふるさと納税全体の収支は。

**答** 総務課長 令和4年度、受入額は5911万円、返礼品等の経費2963万円、実質収納額は2948万円。一方、町外へのふるさと納税による町民税減収額は2403万円となっている。

**問** ふるさと納税による地方交付税措置への影響額は。

**答** 総務課長 町外へのふるさと納税により寄附金税額控除された2403万円の75%1802万円は基準財政収入額から控除されることにより減収額の75%は補填される仕組みとなっている。

**再問** ふるさと納税については町民の誤解もある。効果と総合的な収支について積極的に広報すべきでは。

ふるさと納税に関する取組みは、町民の誤解を解消し、効果と総合的な収支について積極的に広報すべきでは。

**再答** 総務課長 受入額は公表していたが、今後は全般について公表していきたい。

**問** ふるさと納税の寄附は増加しているが、まだまだ消極的な点もある。自主財源確保のため戦略的に積極的に取り組む考えは。

**答** 総務課長 返礼品の充実を図るなどの取組みにより、寄附先として選んでもらえるよう取り組んでいく。

### 【その他の質問事項】

- ◆ 企業版ふるさと納税の進捗状況について
- ◆ 町道の道路台帳整備と公開、および道路愛称について

令和4年度 ふるさと納税実績 (試算)

ふるさと納税実績 (※町ホームページより)		件数	金額	要した費用 (※)	
一般	⑦自治体へおまかせ (特定せず)	1,758	32,594,000	返礼品	15,877,017
民生費	⑤福祉の充実に関する事業	659	12,536,000	送料	4,330,374
衛生費	①地域猫活動をはじめとする環境保全事業	190	3,195,000	広報	
農業費	②千年の苑をはじめとする産業振興事業	94	1,629,000	決済等	335,214
教育費	③小中一貫教育の推進をはじめとする教育環境事業	290	5,246,000	事務	8,351,162
	④杉山城跡をはじめとする文化財保護事業	110	1,948,000	その他	0
保健体育	⑥スポーツの振興に関する事業	89	1,970,000		
計		A= 3,190	59,118,000	費用計 B=	28,893,767
			ふるさと納税をいただき、町の実質歳入が増加した額 C=	差引 (A-B)	30,224,233

※「要した費用」は総務省「令和4年度受入額の実績等」より

ふるさと納税により、町民税が減少となった額 (令和5年課税分) D=町民税控除額 24,346,540  
 参考: 総務省「令和5年度課税における住民税控除額の実績等」 (寄付額= 753人 52,319,797)  
 減額となった町民税から地方交付税で補填される額  
 地方交付税交付金 試算 (D×75%) ..... 参考: E=D×75% 18,259,905

ふるさと納税により、実質歳入が減少した額 (試算) 参考: F=D-E 6,086,635

実質歳入増-実質歳入減 総合収支 = C-F 24,137,598

※本表は、町ホームページと総務省より公表されている計数により、独自に試算したもの。

## 総務経済常任委員会

ウィズコロナ時代におけるまちづくりについて  
(7月14・27・29日・8月5・8日)

### 子ども達からの意見聴取

8月5日の「嵐山夏まつり」に出演する3団体(サンディーズダンスチーム、駒王太鼓「嵐」、嵐山ライナーズスポーツ少年団)の子ども達にご協力いただき、意見聴取を行った。

### 子どもの主な意見

- ①今後やりたいこと
  - ・たくさんイベントに参加したい。
  - ・色々な学年と触れ合いたい。
  - ・旅行や制限のない学校生活を送りたい。
  - ・友達といっぱい遊びたい。
  - ②町にやってもらいたいこと
    - ・通学路の整備。
    - ・学校のトイレをきれいにしてほしい。
    - ・花火大会やおまつり。



### これまでの調査研究

・コロナ禍で積み重ねてきたものが停滞し、なくなることも多かった。今後回復するようなまちづくりが必要。  
・会議に通信技術を活かし、町づくりへの参加を推進する。

### 意見聴取の総括

### 最終報告についての意見交換

・子ども達が素直でよく協力してくれた。先生、コーチ、子ども、保護者、皆一体となっていると感じた。こういった活動は、今後益々必要。  
・皆元気が良いのが印象的。  
・子どもの活動は送迎が大変。送迎できない家庭は参加が難しいと感じた。

### 委員会最終報告

・コロナ禍で現場に出向く活動が制限されていた。議会として、町民の素直な意見を聴取するため、今後も積極的に現場に出向くことが必要。  
・町も現場に出向き、町民の意見を直接聴くことは、今後のまちづくりに必要。  
・今後の課題として、若者会議が残っている。開催に向けて調査研究が必要。



サンディーズダンスチーム = R5.7.29



嵐山ライナーズスポーツ少年団 = R5.8.5



駒王太鼓「嵐」 = R5.8.5

※お忙しい中、ご協力ありがとうございました。

## 文教厚生常任委員会

人口減少対策について(6月14日・7月3日・8月4日)

### 視察後の意見交換

### 委員の主な意見

- ・子育て支援センター「ベアリス」  
「屋根のある公園」がコンセプト。落ち着いた、雰囲気の良い支援センター。  
・父親向けのイベントは「パパの日」と明記してあり男性も参加しやすい。  
・困っている人がいつでも相談できる点は学ぶべき。  
・恋たまごたまサポートセンター  
・町村の取り組み具合が違うという点では残念。  
・市町村への出張登録会を取り入れてPRしてみても。  
・商工会や観光協会がバーベキュー場を利用してイベントを企画し、出合いの場を提供してはどうか。

### 提言に向けた委員間討議

「町の人口ピラミッドについても検討し、子育て世帯に対する支援と施策の充実が最重要」と全委員の意見が一致。

## 提言

- 一 人口ピラミッドのいびつな部分に重点を当てた子育て世帯の流入促進策やUターン支援策と流失抑制策を集中的に実施する。
- 二 嵐山町立幼稚園は特徴のある「行かせた幼稚園」としての教育が行われている。この効果を小中学校においても発揮できるように、連携を図りながら、誰一人取り残さない豊かな教育の実施。
- 三 0歳から2歳児を持つ世帯に対して、経済的・精神的負担を緩和できる政策を町の子育て支援策の特徴として位置づける。
- 四 小学生以上の子どもの遊びや学習の場について、公共施設の開放を進め、地域ぐるみ支え合いを実施する。
- 五 人口減少を反転するために、国の施策の着実な実施と町全体で子ども・子育てを支えていくという意識の醸成を図る。



## 政務活動費

(令和5年4月～10月)

議員の調査研究のための必要経費として、議員あるいは会派に対して交付する金銭のこと

◆交付額 議員一人あたり月額：2,500円



収支報告書はこちらからご覧いただけます

会派、議員名	収入額	支出額	町返還額
政友会：小林 智、狛守勝義、大野敏行、 富山美幸、長島邦夫、青柳賢治、 松本美子	122,500円	78,694円	43,806円
日本共産党：藤野和美、川口浩史	35,000円	0円	35,000円
渋谷登美子	17,500円	20,502円	0円
森一人	17,500円	0円	17,500円

## 比企広域市町村圏組合議会

8月9日（水）令和5年第3回定例会が東松山市議会議場にて開催され、提出された議案は全て原案通り可決されました。

### ●「埼玉西部地域消防指令事務所協議会」の進捗状況

埼玉西部、坂戸鶴ヶ島、比企広域、西入間の各消防（局）本部は、令和6年4月から共同で119番の受付を開始する計画である。共同受付をする場所は飯能口高消防署Ⅱ写真左Ⅱであり、現在は、指令システムの整備、運用面の細部にわたる調整等を行っている。



### ●訴訟に係る解決金約3543万円を受け取る

平成25年消防救急デジタル無線設備設置工事の入札において談合があったとして、令和2年(株)富士通ゼネラル外6社に対し東京地裁に訴訟を起こした。東京地裁は令和4年和解勧告をし、双方ともこれを受け入れ、解決金約3543万円を受け取ることとなった。なお、弁護士費用は約948万円である。

### 小川地区衛生組合議会

8月7日（月）令和5年第2回定例会が小川町議会議場にて開催され、提出された議案は全て原案通り可決されました。

#### ●議案第10号

令和5年度小川地区衛生組合一般会計補正予算（第1号）

#### ●議案第11号

令和4年度小川地区衛生組合一般会計歳入歳出決算認定

歳入	17億7242万円
歳出	15億9977万円
歳入歳出差引額	1億7264万円



～町民に開かれた議会を目指して～

## 議会報告会・意見交換会

意見交換会テーマ「新しい議会に何を求めますか」

日時：1月13日（土）午前の部 10時～正午（9時30分～受付）  
午後の部 1時30分～3時30分（1時～受付）

場所：町民ホール（申込不要）

- ◆発熱等風邪症状がある場合、入場をお断りさせていただく場合があります。
- ◆託児を希望される場合、1月5日（金）までに議会事務局へお申し込みください。



ご参加お待ちしております

次の定例会は 2月26日（月）開会の予定です。皆様の傍聴お待ちしております。  
 請願・陳情は 2月15日（木）午後5時までに提出してください。

平澤の高橋秀志さんが切り取った嵐山の秋です。嵐山が輝く季節です。



※表紙の写真は明治以降の七郷小が保存していた写真です。

七郷小学校運動会の際、150周年のお知らせがありました。大きな節目の年、先人の思いである後世に向けた子どもたちの為に、出来ることを推し進めます。  
 （竹内・宮本）

## 編集後記